

待合室

ジェネリック 医薬品の問題点

「血圧降下薬をジェネリックに変えたら、血圧降下作用が弱いように思える。」、「血圧降下剤をジェネリックに変えた患者さんから、蛋白尿ができるようになった。」と友人が言っていました。先発薬とジェネリック薬は同じではないとの現れだと思います。

「ジェネリックのカプセル薬が原形をとどめたまま便とともに排泄された。」と聞いたこともあります。ジェネリック薬の中には、薬剤が体内で吸収されないカプセル薬もあるということです。

メソトレキサートというがん細胞をおさえる薬があります。この薬は、最近は、関節リウマチの患者さんにも一般的に使われています。この薬の副作用でこれまでに465人の死亡例が報告されているそうですが、その報告は先発医薬品を服用した人を対象とした調査報告で、ジェネリック医薬品を服用した患者さんについては調査対象外だそうです。

効果判定調査、副作用調査が免除されていて、現場の医師にそれらの情報提供がないことがジェネリック医薬品の最大の問題点だと思われます。

(S.Ne)

医療機関検索のご案内
右下のQRコードを読み取ると、ご自宅や最寄駅付近の医療機関を検索することができます。



こんな時どうする

子どもに落ち着きが ありません。

横浜市精神科医会
小児療育相談センター青い鳥診療所

いいだみき
飯田 美紀



3歳の男の子です。歩きだしたとたん、じつとしていません。外に連れていくと目についたところへ突進していきます。車道に飛び出すこともあります。なので、危なくて目が離せません。公園ではお友達のおもちゃを勝手に取ったり、その子を突き飛ばしたりします。叱ると癪を起して地面にひっくりかえり大声で泣き騒ぎます。しつけがうまくできません。周囲の目が気になります。外に連れて行くのも憂鬱です。男の子はこんなものなのでしょうか。私の育て方が悪いのでしょうか。

しつけではなく、発達上の問題から育てにくいお子さんかもしれません。ADHD(注意欠陥多動性障害)が疑われます。ADHDとは多動、衝動性、不注意などが特徴です。多動とはじつとしているらず、立ち歩いたり、常に体が動いていたり、おしゃべりがやめられないなどです。衝動性とは目についたものに次々と反応したり、順番が待てなかつたりすることです。不注意とは集中が続かず、一連の行動が中断したり、忘れ物が多くなります。早めに気がつき、特性に合わせた対応が必要です。また周囲の理解

しつけの問題
なのでしょう?



じいじ相談したら
よこのじょうか?



お住まいの区を管轄する地域療育センターや福祉保健センター、児童相談所などで相談してみましょう。お子さんの発達の状態の確認をし、ADHDかどうか判断してもらおう。特性の理解と対応の工夫を教えてもらってください。必要な場合は各療育センターで行っている療育グループに参加されることをおすすめします。またセンターによつてはペアレントレーニングも行っています。

を得ることも大切です。

家庭でよこむのじょうか。
したらよこのじょうか。



刺激に反応しやすいので環境を整えてあげましょう。たとえば食事のときは、食事に集中できるような配慮をします。おもちゃを片付け、テレビは消しましょう。気が散るもの無く、遊びと食事のけじめをつけるのです。言葉がけも一度にあれこれ言わず、具体的に簡潔にそして穏やかに伝えください。おもちゃも片付けしやすいようにどこに何を入れるか、カラーボックスなどを使って、わかりやすいように工夫してみましょう。また一日のスケジュールをあらかじめ伝えあげることで、一日の流れがスムーズになります。